

春の観光シーズン到来、一村では59年用の「岩室温泉ポスター」(1,000部)を作り、春・岩室へのいざないをつくらした。今までのモデルを「温泉」というイメージを「と」で、墨字で情緒を出してみました。いかがでしょうか。

ご存じですかー 検察審査会

交通事故や犯罪による被害者は、犯人の不起訴処分に対し、不服を申し出る事ができます。検察審査会は、申し立てにより事件の真相を調査し、犯人が起訴されるべきものと判断したときは、その旨を勧告することが出来ます。相談や申し立ての費用は無料で秘密も固く守られます。詳しくは、新潟検察審査会事務局(新潟市学校町通一の新潟地方裁判所内、☎〇二五二②四一三二)へどうぞ。

募集：警察官 [大卒]

今年八月採用予定の新潟県男子警察官(大卒)を募集します。資格：大学既卒者で二十七歳までの男子。受付：四月九日～五月十日まで。試験：第一次―五月二十日(新潟中央警察署で)、第二次―六月中旬。採用人数：約二十五人。申込み・問合せ：警察署(☎〇二五二②四一三二)か最近の駐在所へ。

公民館の学級に参加しませんか



仲間づくりも兼ねるってご参加ください。申込み・問合せは、公民館(☎②四四四四)へどうぞ。会場は婦人学級、料理教室とも公民館です。●料理教室▽昼のコース：毎月第二水曜日午前10時から(年十回開講)▽夜のコース：毎月第三火曜日午後七時から(年十回開講)内容―身近な材料を使って毎日の献立を作ります。会費・材料費―一回千円程度▽研究コース：毎月第四水曜日午前10時から(年十回開講)対象―料理教室を二年以上経験された人。会費・材料費―一回千円程度―いずれも定員三十名で締切ります。

労働保険料の申告・納付は

昭和五十九年度の労働保険料の申告・納付期限は五月十五日です。まだ手続きをされていない事業主の方は早めにご申告ください。詳しくは、新潟労働基準監督署(☎〇二五二②三三三)へ。

4月1日～7日 春の火災予防週間

点検は防火のしめくくり

春先は風が強く、空気が乾燥しているため火災の発生しやすい季節です。悲惨な焼死事故や大切な財産の損失を防ぐためにも、家族全員で防火に努めましょう。

善意をありがとう

和納十一区近藤泰秀さんから「母小林コノさん」のご冥福を祈られ金三万円のご寄付がありました。和納七区石川利衛さんから「母キクノさん」のご冥福を祈られ金十万円のご寄付がありました。油島の阿部民夫さんから「祖母ミカさん」のご冥福を祈られ金五万円のご寄付がありました。石瀬の成田忠雄さんから「妻ユキさん」のご冥福を祈られ金十万円のご寄付がありました。

一級小型船舶免許切替え締切りは5月25日まで

昭和四十九年五月二十五日以前に取得された旧小型船舶操縦士免許または丙種航海士以上の免許をお持ちの方は、(財)日本船舶職員養成協会などが行っている三時間の講習を修了すると、一級小型船舶操縦士の免許が与えられることになっています。いよいよ五十九年五月二十五日で期限が切れます。

中小企業融資制度「ご利用ください」

設備の近代化を計画されている中小企業のみさんのために、県では無利子の融資制度(中小企業設備近代化資金)を用意しています。本年度の資金の申請を今月一日から受け付けています。ご希望される方はお早目に。▽申請期限：五十九年四月一日から十二月二十日まで(期限内でも予算枠に達した時点で締め切りとなります。)

殉職船員遺児援護事業

日本殉職船員顕彰会では、海難など職務上の事故で亡くなられた汽船船員の遺児への援護事業を開始しました。▽援護金(月額)：三千元。詳しくは日本殉職船員顕彰会(〒102東京都千代田区麹町四一五・☎〇三三〇〇六六二)へ。

年々ふえていく糖尿病

糖尿病の予防

先月号まで十二回シリーズで「ガンの予防」についてお話してきましたが、今月号から成人病をより悪化させる「糖尿病」についての知識と予防についてお話しします。みなさんの健康管理に少しでもお役に立てば幸いです。

糖尿病は、年々増加の傾向にあり、特に中年以上の人に多く発生していることから、社会的にも重視されるようになってきました。これは食料事情をはじめ生活環境がよくなったこと、医療全体が進歩したことによるものですが、好ましい傾向とはいえません。糖尿病の放置・未治療は極め

て危険です。糖尿病を知らずに放っておいたり、糖尿病にかかっているのに治療をしないといると、体の活動能力がふるばかりでなく、全身の血管へ悪影響をあたえ、脳卒中や心臓病、腎臓病などの余病を起したり、眼底の血管が侵され失明することもあり、ついには「死」という不幸な結果を招きます。

しかし、糖尿病になっても適当な運動、精神の安定、食事療法など―医師の指示のもと、毎日、規則正しい生活をするこ

はっぱをかける



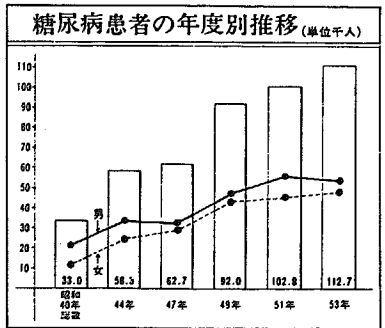
新学期を迎えた運動部では、練習する部員に対して、コーチがさかんに「はっぱをかける」ことでしょう。新入りのセーラスマンが、売り上げを伸ばせと上司から「はっぱをかける」シーズンでもあります。

この「はっぱ」は、漢字で書くと「発破」。鉱山や工事現場などで、爆薬を使って爆破する作業をいいます。「発破をかける」は爆破させるの意味で、転じて、激しい語気で気合いを入れる場合の表現になりました。「発破」は「岩石爆破」とも呼ばれるように、炭鉱、採石、土木工事などで、主として岩石を対象とするときに使われます。いわゆる戦闘における爆破と違って、経済的効率よく、保安全も危険のない破壊作業でなければなりません。爆薬はダイナマイトが多いことから「はっぱ」は「ダイナマイト」の隠語としても用いられました。現在のように、督励することを「はっぱをかける」と言うようになったのは、昭和に入ってからなのでしょう。

とで病気をコントロールすることができ、余病も防げます。従って糖尿病の早期発見に努め、そのうえで適切な健康管理が重要となってきます。次回回は「糖尿病とは？」についてお話ししましょう。

〔文責 保健婦〕

(昭和53年患者調査)



(昭和53年患者調査)

糖尿病の年代別患者数					
	35-44歳	45-54歳	55-74歳	75歳-	合計
男	8.1	14.9	13.2	12.0	4.4
女	3.7	8.6	16.6	19.5	7.4
合計	11.8	23.5	29.8	31.5	11.8